

平成29年度第2回

中小企業景況調査報告書

平成29年 7月～9月期 報告
平成29年 10月～12月期 予測

千葉県商工会連合会

中小企業景況調査報告書

平成29年7月～9月期

調査要領

1. 調査対象

(1)対象地域

11 商工会地域 勝浦市商工会、袖ヶ浦市商工会、旭市商工会、野田市関宿商工会、白井市商工会、鋸南町商工会、大網白里市商工会、成田市東商工会、東庄町商工会、富津市商工会、長柄町商工会

(2)対象企業数 165 企業(11 商工会×15 企業)

(3)回答企業数 165 企業

2. 調査対象期間 平成29年7月～9月を対象とし、調査期間は平成29年8月21日～9月1日である。

3. 調査方法 商工会の経営指導員による訪問面接調査。

(1)産業別構成

業種	回答企業数	構成比
製造業	29	17.5%
建設業	27	16.3%
小売業	42	25.4%
サービス業	67	40.6%
合計	165	

(小数点1位以下四捨五入)

(2)業種別構成

① 建設業

業種	回答企業数	構成比
総合工事業	13	48.1%
職別工事業	12	44.4%
設備工事業	2	7.4%
合計	27	

(小数点1位以下四捨五入)

② 製造業

業 種	回答企業数	構成比
食料品製造業	12	41.4%
飲料・飼料・たばこ製造業	2	6.9%
家具・装備品製造業	1	3.4%
パルプ・紙・紙加工品製造業	1	3.4%
印刷・同関連業	1	3.4%
窯業・土石製品製造業	1	3.4%
金属製品製造業	3	10.3%
精密機械器具製造業	1	3.4%
その他製造業	7	24.1%
合 計	29	

(小数点 1 位以下四捨五入)

③ 小売業

業 種	回答企業数	構成比
各種商品小売業	2	4.8%
織物・衣服・身の回り品小売業	5	11.9%
飲食料品小売業	23	54.8%
家具・建具・じゅう器小売業	3	7.1%
その他小売業	9	21.4%
合 計	42	

(小数点 1 位以下四捨五入)

④ サービス業

業 種	回答企業数	構成比
一般飲食店	25	37.3%
宿泊業	5	7.5%
運送業	2	3.0%
自動車整備業	13	19.4%
洗濯・理美容業	12	17.9%
その他のサービス業	10	14.9%
合 計	67	

(小数点 1 位以下四捨五入)

本報告書中の[DI 値]とあるのは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目についての増加(好転、上昇)企業割合から、減少(悪化、低下)企業割合を差し引いた値を示すものである。

I. 県下中小企業の景況

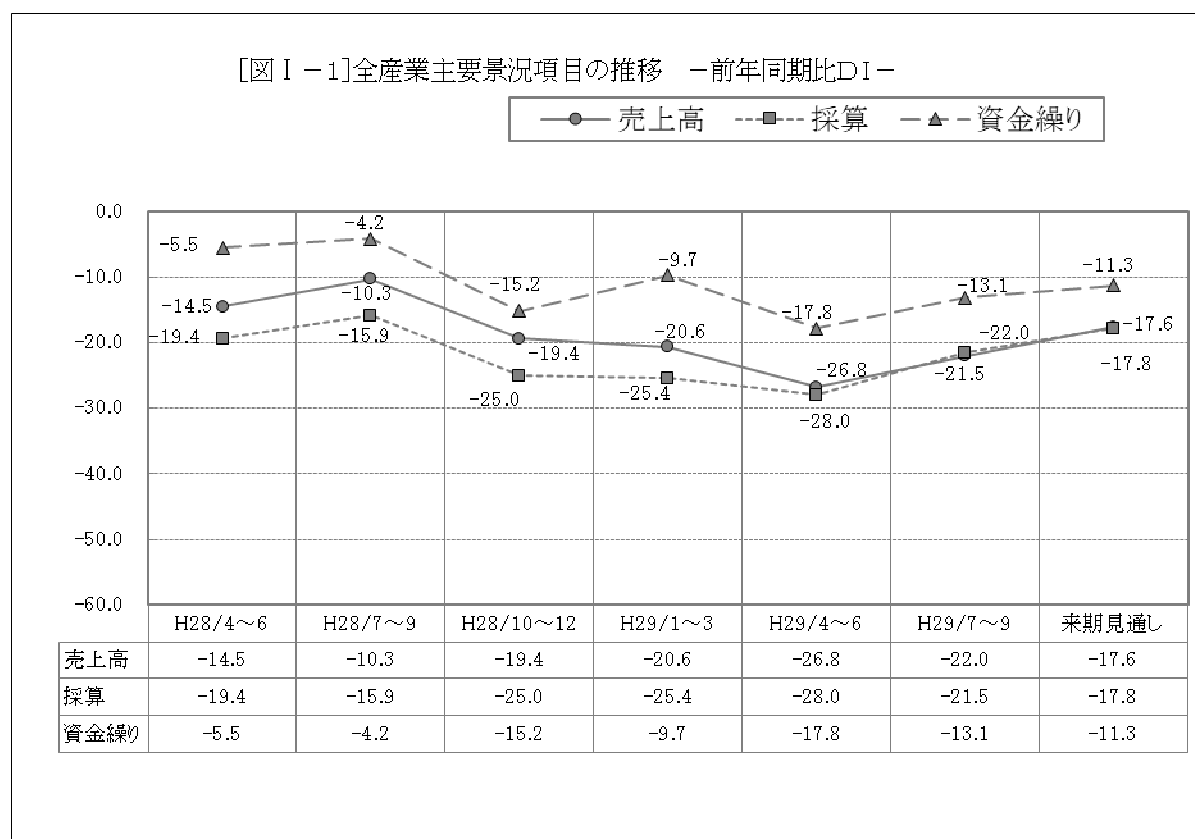
“景況は持ち直しの動きがみられ、来期も改善の見通し”

千葉県商工会地区の平成 29 年 7～9 月期中小企業景況調査結果によると、産業全体の景況感は[図 I-1]に示したとおり、今期売上高 DI 値は-22.0、前期（平成 29 年 4～6 月期、-26.8）比で 4.8 ポイントマイナス幅が縮小。同採算 DI 値は-21.5、前期（-28.0）比で 6.5 ポイントマイナス幅が縮小。資金繰り DI 値も-13.1、前期（-17.8）比で 4.7 ポイントマイナス幅が縮小しており、全ての項目で改善している。

また、前年同期（平成 28 年 7～9 月期）調査と比較してみると、売上高 DI 値は、前年同期（-10.3）比で 11.7 ポイント。採算 DI 値については、前年同期（-15.9）比で 5.6 ポイント。資金繰り DI 値は、前年同期（-4.2）比で 8.9 ポイントマイナス幅が拡大している。前年同期と比較すると全項目で下回っているものの、景況に持ち直しの動きがみられる。

業種別にみると、売上高 DI 値は製造業と建設業は横ばいで、小売業、サービス業については改善している。採算 DI 値は全業種で改善、資金繰り DI 値は、小売業が悪化しているものの、他は改善しており、全体的に改善傾向がみられる。














来期（平成 29 年 10～12 月期）についても、世界経済も安定しており、年末商戦などプラス要素が大きいことから、すべての項目で DI 値は改善する見通しである。



II. 各産業の景況

1. 製造業の景況

“受注は安定しており、景況は、緩やかに回復している”

	今期の景況	来期の見通し	
売上高			 :DI 値 +30～
採算			 :DI 値 +10～+30
資金繰り			 :DI 値 +10～-10
総合			 :DI 値 -10～-30
			 :DI 値 -30～

千葉県商工会地区における製造業の景況は、売上高 DI 値は-10.4 ポイントで、前期（-10.3 ポイント）比 0.1 ポイントマイナス幅が拡大。採算 DI 値については-20.7 ポイントで、前期（-25.0 ポイント）比 4.3 ポイントマイナス幅が縮小。資金繰り DI 値は-6.9 ポイントで、前期（-17.8 ポイント）比 10.9 ポイントマイナス幅が縮小している。

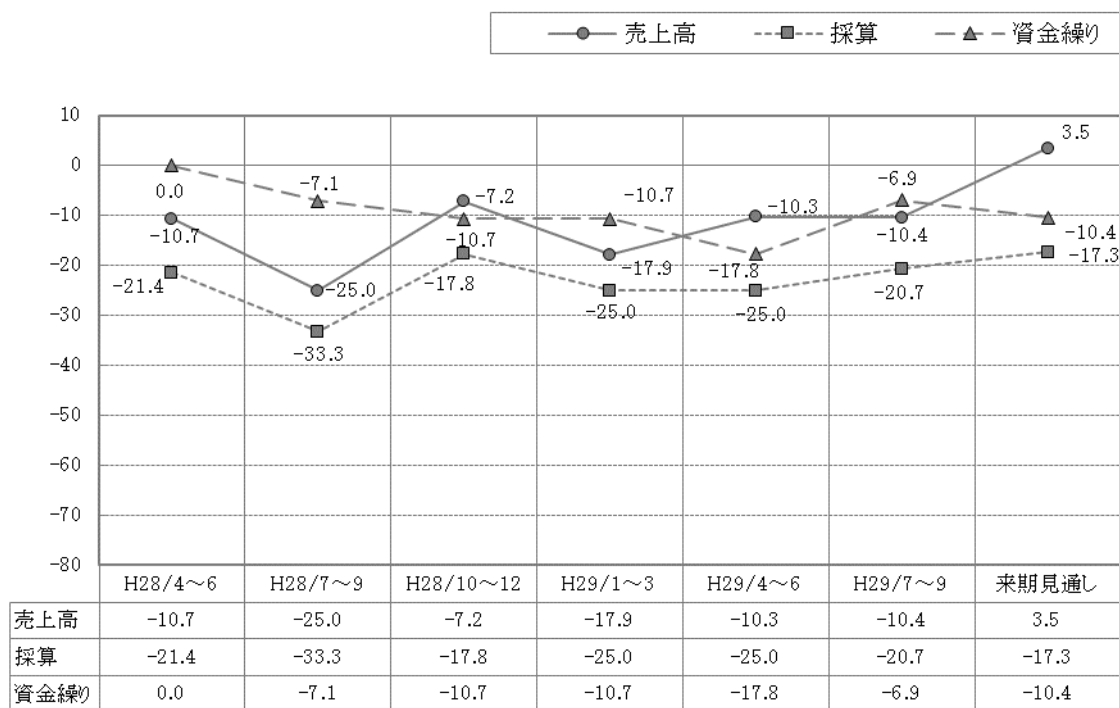
需要の停滞や製品（加工）単価の低下・上昇難が経営上の大きな問題点を感じる事業者が減少しており、引き合いや受注残は増加しておりことから、緩やかではあるが、景況は回復基調にあるといえる。

一方で、生産設備の不足・老朽化や従業員の確保難を問題点とする事業者が増加しており、需要拡大に対応した生産体制の整備が急務となっている。また、前期に続き、製品ニーズの変化を問題点とする事業者は増加しており、製品の付加価値化については継続した課題となっている。

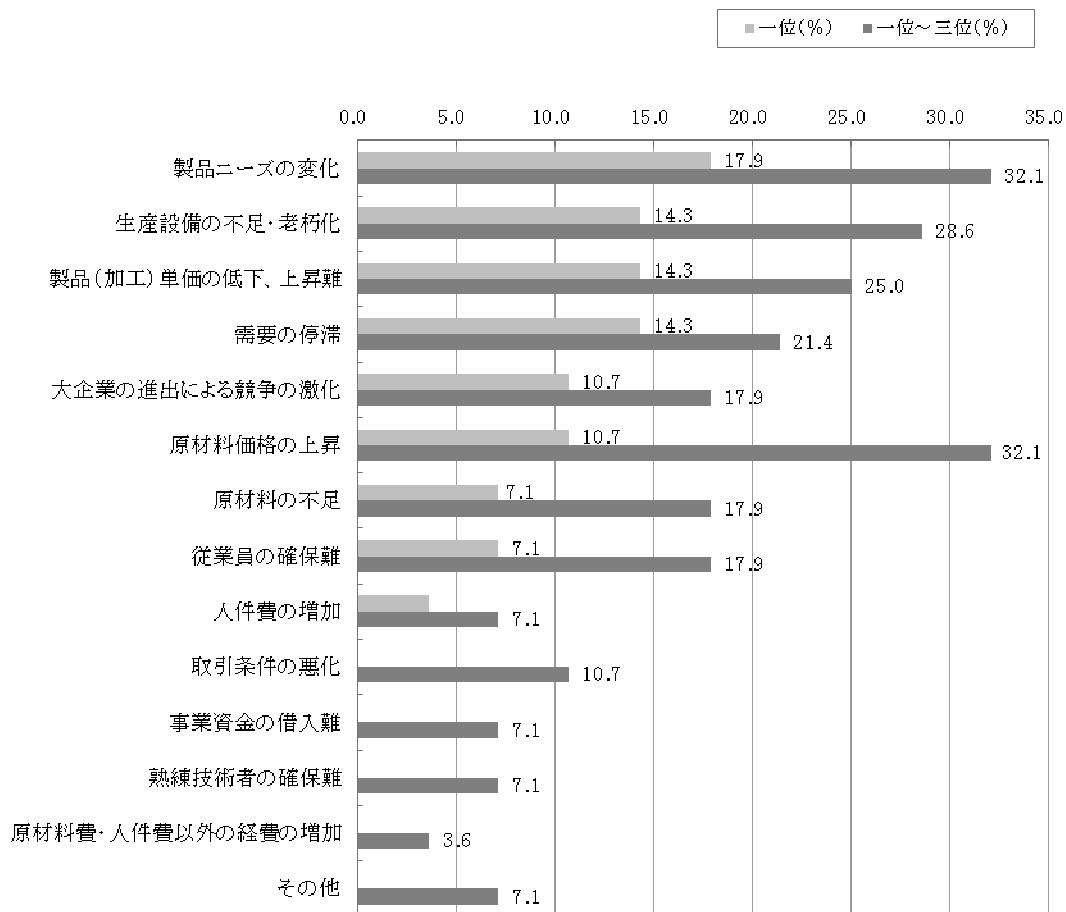
来期については、資金繰り DI 値は悪化も、日欧 EPA の大枠合意といったプラス材料があり、売上高 DI 値、採算 DI 値は改善を予測、全体的には回復基調は継続する見通しである。

今期は新規設備投資については 3 社が実施。内訳は工場建物、付帯施設、OA 機器等となっている。また、来期も 3 社が計画しており、生産設備、車両・運搬具、福利厚生施設の導入を予定している。

[図Ⅱ-1] 製造業主要景況項目の推移 - 前年同期比DI-
















[図Ⅱ-2] 製造業 経営上の問題点の状況



2. 建設業の景況

“人材不足問題など懸念はあるが、景況は回復傾向に”

	今期の景況	来期の見通し	
売上高			 :DI 値 +30～
採算			 :DI 値 +10～+30
資金繰り			 :DI 値 +10～-10
総合			 :DI 値 -10～-30
			 :DI 値 -30～

千葉県商工会地区における建設業の景況は、売上高 DI 値が -14.8 ポイントで、前期 (-14.8 ポイント) 比で変わらず。採算 DI 値については -11.1 ポイントで前期 (-22.2 ポイント) 比 11.1 ポイントマイナス幅が縮小、資金繰り DI 値も -7.4 ポイントで、前期 (-22.2 ポイント) 比 14.8 ポイントマイナス幅が縮小おり、前期に続き、緩やかではあるが改善している。

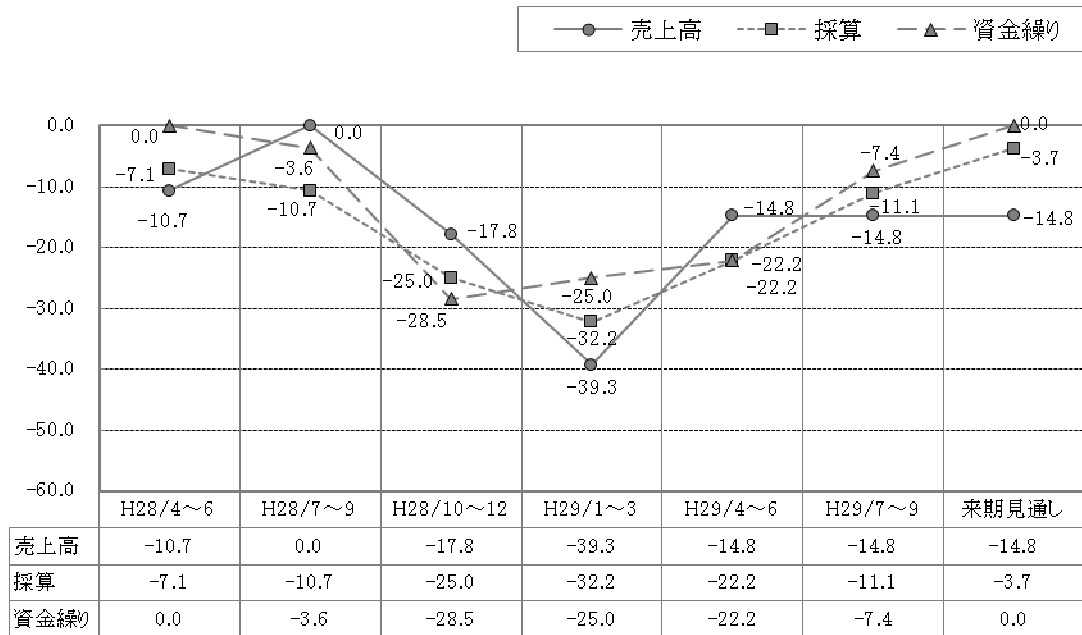
今期は、民間需要に加え、官公需要が増加しており、受注機会は増加している。一方で、従業員の確保難を経営上の問題点とする事業者は増加しており、人材不足による機会損失が発生している。

また、請負単価の低下・上昇難、取引条件の悪化、材料価格の上昇を問題視する事業者は依然多いため、注意が必要である。

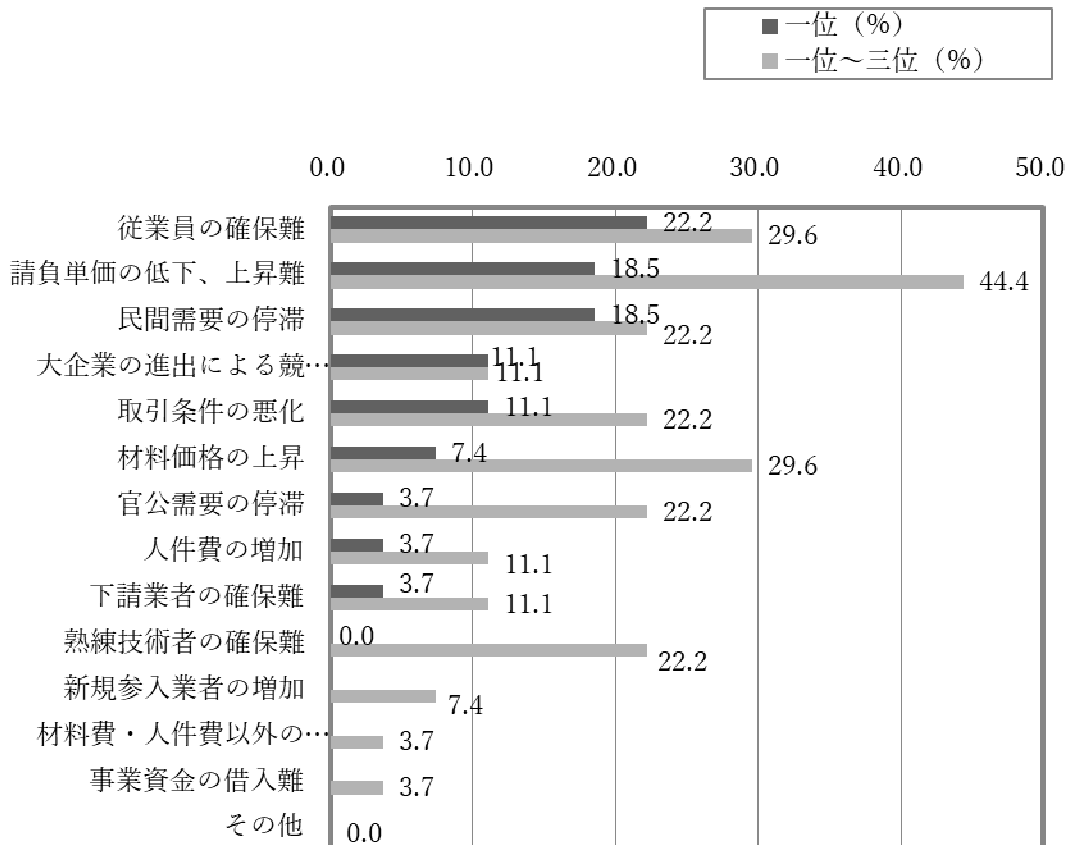
来期も、引き合い件数は増加しており、景況の回復傾向は継続する見通しである。このため、採算 DI 値、資金繰り DI 値については、改善が予測されている。また、売上高 DI 値については、人材不足の影響から、今期同様の見通しとなっている。

新規設備投資について、今期の実施はなし。来期計画は 1 社で車両・運搬具を予定している。

[図Ⅱ-3]建設業主要景況項目の推移 - 前年同期比DI-
















「図表Ⅱ-4」建設業 経営上の問題点の状況



3. 小売業の景況

“消費マインドに回復の兆し、景況は持ち直しの動きを示す”

	今期の景況	来期の見通し	
売上高			 :DI 値 +30～
採算			 :DI 値 +10～+30
資金繰り			 :DI 値 +10～-10
総合			 :DI 値 -10～-30
			 :DI 値 -30～

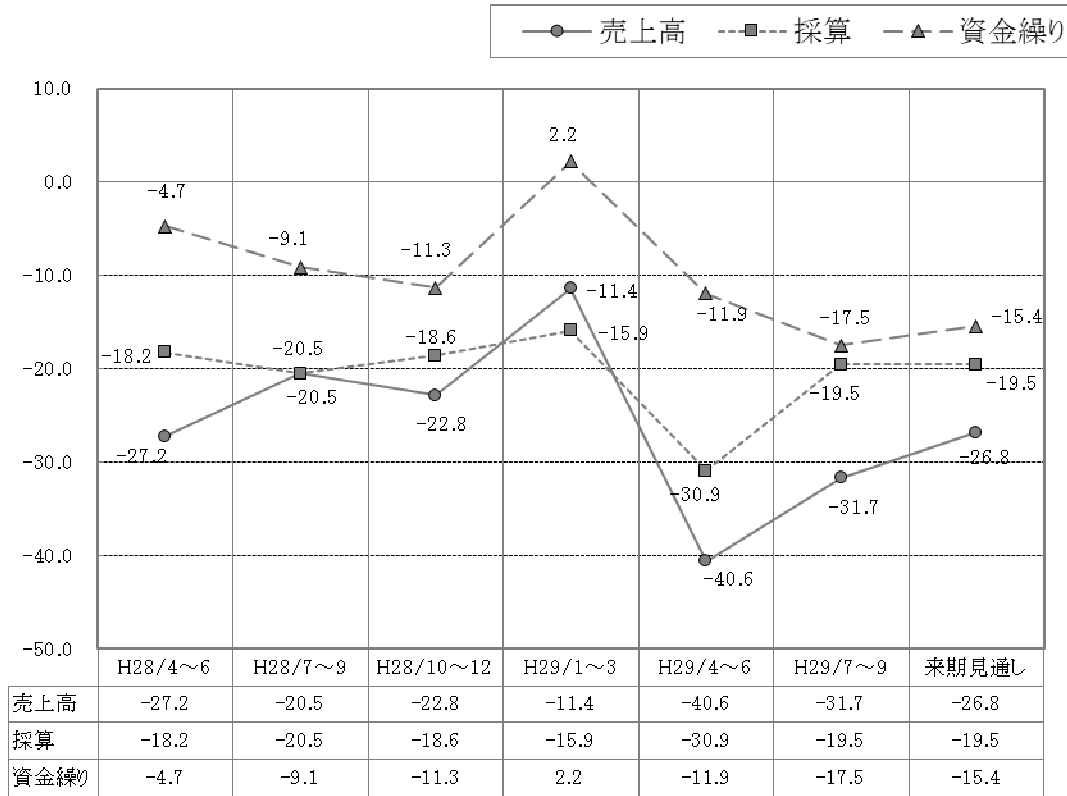
千葉県商工会地区における小売業の景況については、夏のボーナス商戦の影響もあり、売上高 DI 値は-31.7で、前期(-40.6)よりも8.9ポイントマイナス幅が縮小。採算 DI 値についても-19.5で、前期(-30.9)から11.4ポイントマイナス幅が縮小している。資金繰り DI 値については-17.5で前期(-11.9)から5.6ポイントマイナス幅が拡大しているものの、全体的には、持ち直しの動きを示している。ふるさと納税の返礼品により売上が増加したとのコメントもあり、地域特有の要因も確認できている。

一方で、前期と同様に購買力の他地域への流出、大型店・中型店の進出、需要の停滞、消費者ニーズの変化の上位4つの問題点をあげる事業者は変わらず多く、引き続き、魅力的な店舗づくりが課題である。

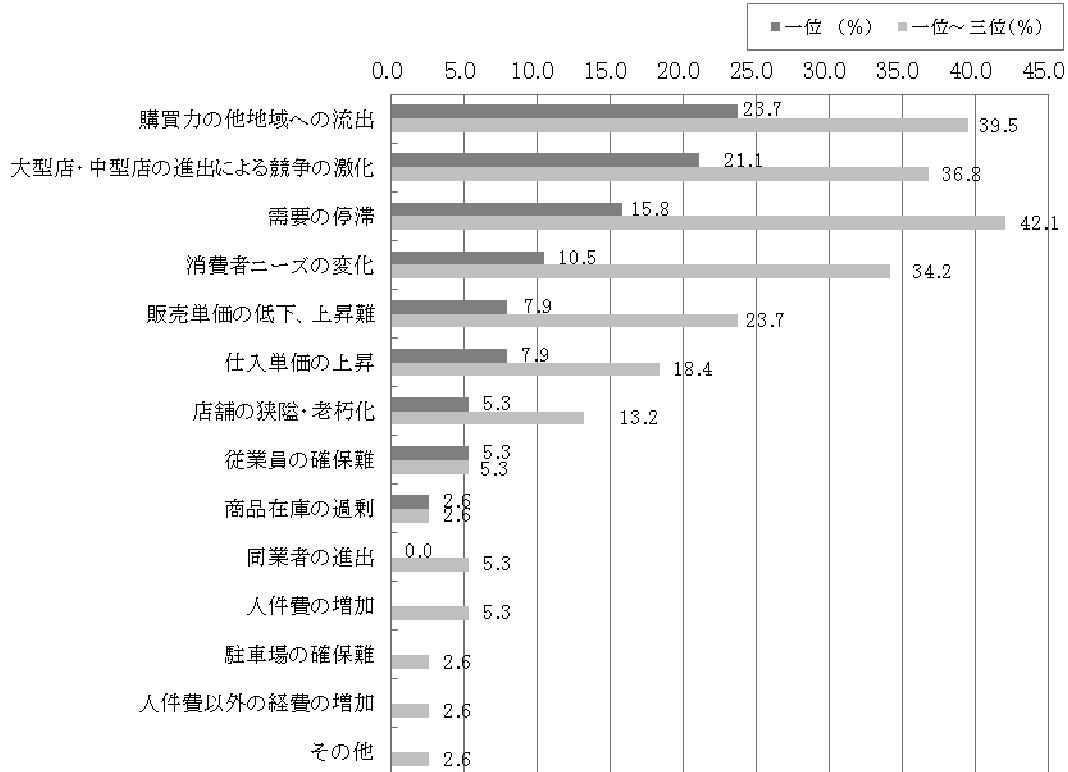
客数・客単価ともに増加しており、地域によるばらつきはあるものの、消費マインドは回復傾向にあると考えられる。来期に関しては、年末商戦への期待もあり、採算 DI 値は変わらない予測であるが、売上高 DI 値、資金繰り DI 値については、緩やかではあるが改善する見通しである。

新規設備投資については、今期は6社が実施。内訳は、店舗、販売設備、車両・運搬具、付帯施設等となっている。また、来期計画は3社で、店舗、販売設備、付帯施設の導入を予定している。

[図II-5]小売業主要景況項目の推移 - 前年同期比DI-
















[図II-6]小売業 経営上の問題点の状況



4. サービス業の景況

“不透明感は残るも、景況は持ち直しの動きを示している”

	今期の景況	来期の見通し	
売上高			 :DI 値 +30～
採算			 :DI 値 +10～+30
資金繰り			 :DI 値 +10～-10
総合			 :DI 値 -10～-30
			 :DI 値 -30～

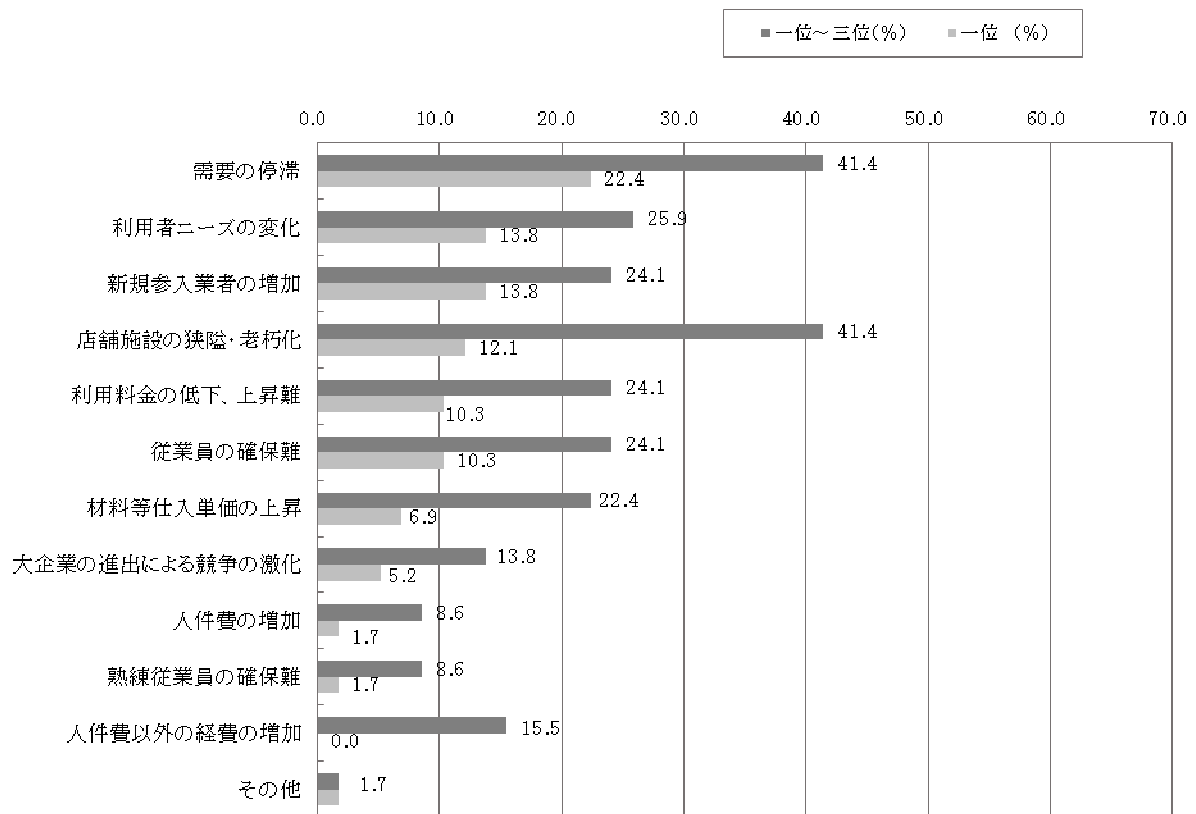
千葉県商工会地区におけるサービス業の景況は、夏のボーナスや訪日観光客増加といったプラス要素もあり、売上高 DI 値については、-23.9 ポイントで、前期（-30.3）より 6.4 ポイント、採算 DI 値についても、-27.3 ポイントで前期（-29.8）から 2.5 ポイント、資金繰り DI 値も -15.6 ポイントで前期（-19.7）から 4.1 ポイント、全項目においてマイナス幅は縮小している。

一方で、需要の停滞を問題とする事業者が増加しており、地域や業種による景況感のばらつきが確認できる。また、飲食店を中心に、店舗施設の狭隘・老朽化や従業員の確保を課題としている事業者は多く、事業拡大のための投資やオペレーション面での改善が望まれる。

来期についても、年末商戦の期待もあり、売上高、採算、資金繰り DI 値は、それぞれ改善する見通しであるものの、先行きの不透明感が残る。

なお、新規設備投資については、10 社が実施。内訳は、土地、建物、サービス設備、車両・運搬具、付帯施設等となっている。また、来期の計画では 5 社が、土地、建物、車両・運搬具、付帯施設の導入を予定している。

[図Ⅱ-8]サービス業 経営上の問題点の状況



[図Ⅱ-7]サービス業主要景況項目の推移 ー前年同期比DIー

